

氏名： 伊藤 さとみ (ITO Satomi)
所属： 人間文化創成科学研究科文化科学系
職名： 准教授
学位： 博士 (人間・環境学)
専門分野： 中国語学 / Chinese Linguistics
E-mail： ito.satomi@ocha.ac.jp

◆研究キーワード / Keywords

形式意味論 / 類型論 / 比較構文 / 副詞修飾 / ロバ文
Formal Semantics / Typology / Comparative Construction / Adverbial Modification / Donkey Sentence

◆主要業績

総数 (9) 件

- ・描写性状語和事象結構 2008年10月 現代中国語研究第10号
- ・描写性連用修飾語の修飾構造 2008年4月 お茶の水女子大学中国文学会
- ・描写性状語的修飾結構 2008年5月 国際中国語学会
- ・中国語の三つの比較級構文 2009年4月 お茶の水女子大学中国文学会会報第28号 pp. 1-20
- ・中国語の比較級構文 2008年12月 中国語学会 2008年第3回関東支部例会
- ・Typology of Comparatives 2008年11月 意味論研究会
- ・Typology of Comparatives 2008年11月 The 22nd Pacific Asia Conference on Language, Information and Language
- ・A Contrastive Analysis of Japanese and Chinese Comparative Construction 2009年3月 Opening Lecture of SOAS/Och
- ・中国語の疑問詞の量化用法 2009年3月 共同研究発表会 (課題名「日英中言語における疑問詞量化用法への数理的アプローチ」)

◆研究内容 / Research Pursuits

一つの自然言語は、すべての言語に共通する部分と、個別言語によって決定される部分とからなっている。共通する部分は統語構造を作る規則であり、意味を生成するための方法である。一方、実際の構文の構造や個々の語彙の意味は、言語によって異なっている。本研究では、言語の普遍性と個別性を明らかにしようとしている。2008年度には次の項目について研究を行った。

- ・中国語における描写性副詞の修飾構造についての考察 (中国語と日本語の対象に基づく事象表現の総合的研究、課題番号 19320064、研究協力者)
- ・形容詞の意味論、統語構造と言語類型についての考察 (形容詞：絶対級と比較級の類型論、課題番号 18720107、研究代表者)
- ・照応的に用いられる中国語疑問詞についての考察 (お茶の水女子大学共同研究、課題名：日英中言語における疑問詞量化用法への数理的アプローチ、研究代表者)

◆教育内容 / Educational Pursuits

博士後期課程の学生 1 名の博士論文指導、博士前期課程の学生 1 名の修士論文指導、学部生 2 名の卒業論文の指導を行った。授業としては、中国語学概論、中国語統語論、日中対照言語学、中国語文法演習を通して、中国語の統語構造の分析の仕方、中国語に特有の言語現象の紹介、研究を進めるための資料・論文収集の方法などを行った。そのほか、中国語初級、中級の授業を担当した。

◆研究計画

2008 年度の成果を踏まえ、以下の研究を行う。

- 中国語における描写性副詞の修飾構造についての考察
- 形容詞の意味論、統語構造と言語類型についての考察
- 照応的に用いられる中国語疑問詞についての考察

将来的に、以下の研究の遂行を計画している。

- 選言表現と連言表現の交替現象の研究
- 疑問文の焦点構造

◆メッセージ

言語は、人間が作り出したものである点では、文化の一部です。しかし、意図的／目的的に作り出したものではない点で、人間の脳や体と同じように自然の一部です。文化と自然の融合体なので、どのような観点からも分析でき、また、いろいろな観点からの分析が必要な分野です。一つの事柄に対して、多様な観点を楽しみたいという方、また、一面的でなく多面的な思考を鍛えたいという方、どうぞ言語学を勉強してください。